



暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかった
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議員団控室 TEL740-1111 (内線4020)
直通FAX759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp



健康で幸せにくらせるまちづくり・地域で顔が見える子育て応援のまちづくりを 6月議会の一般質問で討論 7/22(土)に市政報告・ざっくばらん懇談会



私(黒田)は6月議会で、「健康で幸せにくらせるまちづくりを」地域で顔が見える子育て応援のまちづくりを「求めて一般質問を行いました。質問内容と配布資料はブログとフェイスブックにも掲載。追って、市議会ホームページでも配信されます。

また、「黒田みちの市政報告会とざっくばらん懇談会」を7月22日(土)10:00~11:30 東谷公民館・集会室で開催します。自転車などで伺う「まちかどカフェ・トーク」も随時行いますので、お気軽にご参加ください。

4つの中項目で

自治体の一番の施策は市民の「命を守る」に尽きます。

今議会では、①学校の健康診断で治療勧告を受けた後の対応など、②成人歯科健診(個別)時に口腔ケア(歯垢・クラークや歯石除去)を実施すること、③新しい医療体制(川西リハビリテーション病院)の周知と北部医療の強化、④「マイナンバーカード保険証」への切り替えを実施しないよう国に意見を述べること、の4つの項目と保育所の待機児童対策について提案・討論を行いました。

6月4日、神戸三宮・東遊園地花時計前で、「大軍拡と増税は反対!暮らしに回せ」と訴える集会とパレードが行われ、私(黒田)も参加しました。(憲法改悪ストップ兵庫県共同センターと「こわすな憲法!いのちとくらし!市民デモHYOGO」共催)

集会では、木下智史関西大学教授・兵庫憲法会議事務局局長がミニ講演を行い、「アメリカTIMESの表紙にまで書かれている岸田政権が進める大軍拡とそのための予算。防衛(軍事)産業支援など悪法を強行している実態や今後、さらに宇宙防衛と衛星撃墜やサイバー空間、学術分野への統制など計画していると報道。昨年末の防衛関係三文書を決めたことから進められているが、マスコミがこの問題点などを報道しないために、国民が知らない、怒ってない。マスコミは岸田政権・肯定の姿勢だ。だからこそ、問題点や危険を知った国民が声をあげて世論を起こすことが大事だ」と強調しました。そして、日曜日に集まって集会、声をあげることが大切だと集会参加者にエールを送りました。

参加者全員で、「官邸に軍拡強行など戦争する国づくりに抗議、抑止力に代わって平和外交による緊張緩和を求め」集会アピールを採択、元町駅前までパレードしました。

「軍拡より国民のくらしにまわせ」「9条守ろう」「非核神戸方式を広げよう」「核兵器は廃止させよう」「原発ゼロ」などのコールを響かせました。お店屋さんや通行人などから手を振ったり、動画や写真を撮る、共感や激励の声かけもありました。

無償化機に治療勧告に対応を

では、健康診断で治療勧告を受けたうち、実際に病院を受診したことの割合はどれくらいか。

丁寧な分析と手だてを

私(黒田)は、全国保険医団体連合会の「全国学校健診後治療調査」の結果を示し、健康診断そのものを受けない、治療勧告後も受診しない要因として、ヤングケアラーやネグレクト、LQ

BTQなどが無いのかなどの丁寧な分析と手だてが必要であり、自分の身体の変化や健康についての気づき・みんなの不登校など長期欠席のこどもの健康診断未受診をなくすることも必要です。

...裏目につく

健康診断結果をもとに、医師の所見や治療勧告が行われていますが、勧告に基づいて病院で受診し治療できないと、健康診断の目的が果たせません。

現在、未就学児、小・中学校・特別支援学校の児童・生徒が学校などで健康診断を受けています。

健康診断受診率

健康診断受診率	(%)
小学校	98.3
中学校	94.1
養護学校	79.2

不登校児童・生徒

小学校	96人(1.27%)
中学校	303人(8.02%)

長期欠席児童・生徒

小学校	227人(3.01%)
中学校	398人(10.54%)

こどもの医療費無償化は7月から所得制限なしで小中学生は入院・通院とも、高校生は入院のみに拡大されます。この機会に、成長・発達に著しいこども達の健康増進にしっかりと取り組むよう提案しました。

「就学前施設」では、受診率100%もあります。しかし、「小学校」では、最低41.4%、最高73.1%で、年代間の格差があります。学校別・地域的な格差はありません。(別表参照・公文書公開に基づき作成 裏面に記載)

この10年、診断結果に大きな変化はないものの、どの年代でも視力低下が顕著です。ITなど生活・学習環境の影響が考えられます。

視力1.0以上のこどもの割合

視力1.0以上(%)	H24年	R4年
就学前施設	90.9	75.3
小学校	73.1	67.1
中学校	51.1	44.1

黒田みちの市政報告会ざっくばらん懇談会

7月22日(土) 10:00~11:30 東谷公民館3階集会室

どなたでも、お気軽にご参加ください。お待ちしております